

2018年度 協豊会関東地区グループ活動

講演会と実技講習会を開催



協豊会関東地区は、7月20日(金)午後、トヨタ自動車 東京本社を会場にお借りしての2018年度第1回目のグループ活動を開催しました。当日は、関東地区会員会社の41社から43名が参加し、本年度グループ活動の幕開けとなりました。

今回のグループ活動は『オリパラ活動』への理解促進を図ることを目的にして、先ずトヨタ自動車オリンピック・パラリンピック部の上田副部長にご講演を頂き、続いて社外講師をお招きしてのポッチャの実技講習会を行ないました。



総務運営委員の紹介



お話をされる上田副部長

上田副部長のご講演では、トヨタさんが会長会社を務める「オリンピック・パラリンピック等経済界協議会」の活動概要について紹介をしていただきました。同協議会では、2019年ラグビーW杯・2020年東京大会のムーブメント醸成と、子供たちの未来にむけたレガシーづくりを目指し、そのために「スポーツ」「バリアフリー」「日本の魅力」「復興・次世代育成」という4つの活動プログラムを提供しており、それらの実施イベントが今年度の中で凡そ300件も計画されているとのことで、会員各社も連携して事業所単位の可能な限りでの参加をと呼びかけられました。聴講した参加者は、「オリパラ活動」の具体例を知るとともに自社や各人としてどの様にしてその活動に参画して行けるのかの理解を深めることが出来ました。

続いて会場を体育館に移し、ボッチャの技術講習を受けました。参加者の大半はボッチャをするのは初めてという方々で、狙った通りにボールを投げることの難しさ、勝つための戦術の面白さやチームワークの必要性などを体感し、約90分の中で笑いと歓声の絶えない講習会となりました。

今回の実技講習を通じて参加者は、ボッチャというスポーツが健常者も障がい者も区別なく誰でも楽しめること、更には競技としては高い技術力と綿密な戦術を要求されるということを知りました。

ボッチャ講習会の終了後には懇親会も開催され、参加者のコミュニケーションが一層深まり、当日は大変有意義なグループ活動となりました。



ボールを狙った所に投げられるか？



ミニ大会